

新宮山彦ぐるーぷ第2080回

南奥駆道（玉置山↓21世紀の森）の巡視・整備

◇実施日：2020年5月14日（木）晴

◇参加者：沖崎吉信、梶野照雄

2名

天候不順や新型コロナウイルスの影響で遅れていた、玉置山から21世紀の森間の巡視をやつと行うことが出来た。

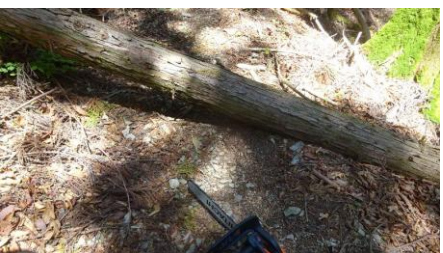
午前8時半前に21世紀の森に到着、しばらくして沖崎さんが到着した。東屋から林道を上がって、奥駆道の石柱がある登山口傍に梶野車を置き、沖崎車で玉置神社の駐車場へ向かう。



21世紀の森で

玉置神社までに標識整備

途中、村道脇の標識を取り付け直しながら、1時間20分程かけて駐車場に着いた。駐車場入り口には柵が設けられて閉鎖されているが、売店の御主人の了解を得て駐車する。



倒木処理

玉置神社の駐車場

折れた楓

駐車場から少し道路を歩き奥駈道へ登る。10分程で玉置山山頂へと続く奥駈道に合流、花折塚方向へ左折する。

合流から一分も歩かないうちに、折れた大きな楓が道を塞いでいた。幸い折れた部分は完全に分離していたので、太いところ一ヶ所を切るだけで道は確保できた。残った枝先の不安定なところを切り落として一本目は処理完了。

かつえ坂を過ぎ、一旦村道に出て、再び奥駈道を20分ほど歩くと杉の木が横たわっていた。直径が20cm弱の物だったので、3m位の長さに切って、谷側の土留に置いた。



2本の杉斜木

花折塚で

そこから20mほど先で、杉の斜木が2本、枝先が道いっぱいになり、奥駈道は通行不能。山側に枝先を回る迂回路が出来ていた。昨年の3月にこの区間は整備しているの、それ以後すぐに倒れたようだ。この付近は、毎回斜木があるので、倒木多発区間だ。

2本の斜木は10分少々で処理完了、先へ進んで花折塚で休憩する。

花折塚のすぐ先に倒木が一本、完全に枯れた木で、珍しく斜面の上から下に向かって倒れていた。これまでの倒木は谷側から山側に倒れている物ばかりだったが、ここは逆向きだ。上にある根の部分の状態によっては慎重な処理が必要になるが、根に土は着いておらず、50cmほどの太いところがよく見えていた。枯れてから長い年月が経って、根も腐り地上部の重さに耐えかねて倒れたものと思われた。根までの長さも7mほどあり、一ヶ所の切断で排除できた。

その後、水呑金剛までに2本の倒木を処理し、村道に出て、奥駈道案内板の前で昼食を摂る。午前中から少し吹いていた風もあまり収まらず、半袖では寒さも感じられるが、歩くにはちょうどいいコンディションだ。



古屋の辻着

展望台付近

村道合流部で

昼食後、再び奥駈道に入り21世紀の森を目指す。稚児之森、蜘蛛の口を経て如意宝珠岳に登りつく。昼食以後、倒木は無く奥駈道

にも異常は無かった。如意宝珠岳から古屋の辻まで下り、登山口に置いた車まで21分で到着した。

車で玉置神社の駐車場まで戻って休憩した後、歩いて確認した場所に標識を設置する。

展望台付近の奥駈道が、新しく作られた林道で分断されて、順峰の場合、入り口が判りにくくなっている。コンクリート舗装された林道を30mほど下ると奥駈道が見えるが、林道の入り口にはチェーンが張っており、この場所に標識は立てづらいので、村道の脇、下方に奥駈道が見えるところに標識を設置した。逆峰の場合は道なりに進むと村道にたどり着くので、標識は設置しなかった。

(記：梶野)

行動タイム

08：25 21世紀の森08：35↓玉置神社駐車場10：02↓10：14 奥駈道合流10：23↓10：32 かつえ坂11：21 花折塚11：35↓12：06 水呑金剛↓12：35 奥駈道案内板13：00↓13：05 稚児之森↓13：13 蜘蛛の口↓13：33 如意宝珠岳↓13：49 古屋の辻↓14：10 登山口